



## HTTPS/SSL サーバの設定

---

- [Windows 2003 または Windows 2008 Web サーバの MIME タイプの設定, 1 ページ](#)
- [Web サーバディレクトリ構造の設定, 2 ページ](#)
- [クライアントの HTTPS サーバへの割り当て, 2 ページ](#)
- [クライアントの HTTPS サーバへの手動割り当て, 2 ページ](#)
- [DHCP オプション タグを使用したクライアントの HTTPS サーバへの割り当て, 3 ページ](#)
- [SSL 機能を持つ初期 Windows 2003 Server または Windows XP SP2 の作成, 3 ページ](#)

## Windows 2003 または Windows 2008 Web サーバの MIME タイプの設定

Webサーバは、シスコで使用されるファイルタイプを識別する必要があります。ファイルを識別するには、IIS に 2 つの MIME タイプを作成します。MIME は、サイト単位で設定する必要があります。

### はじめる前に

IIS と SSL が適切に設定された Windows 2003 Server または Windows 2008 R2 Server が必要です。

### 手順

---

- ステップ 1** デフォルトの IIS インストールでは、IIS 管理コンソールを起動します。
- ステップ 2** [Default Web Site] をブラウズし、右クリックをして、[Properties] を選択します。
- ステップ 3** [HTTP Headers] タブを選択し、MIME マップセクション下で [File Types] を選択した後、[New Type] を選択します。
- ステップ 4** 次の表に示す、2 つの MIME タイプを追加します。[Associated extension] フィールドには、「.INI」および「.」を入力します。

Associated Extension	Content Type (MIME)
.ini	text/plain
.	text/plain

ステップ 5 設定を適用して IIS 管理コンソールを閉じます。

## Web サーバディレクトリ構造の設定

### 手順

ステップ 1 IIS をインストールすると、デフォルトディレクトリの C:\inetpub\WWWroot が作成されます。このフォルダの下に、次のディレクトリ構造を作成します。

C:\inetpub\wwwroot\cisco\wnos\

ステップ 2 WTOS ファームウェアと .INI ファイルを \WNOS ディレクトリに格納します。

## クライアントの HTTPS サーバへの割り当て

次のいずれかの手順を使用して、WTOS ゼロクライアントを正しい HTTPS サーバに割り当てます。

## クライアントの HTTPS サーバへの手動割り当て

WTOS デバイスで、ファイルサーバおよびパスを手動入力するには、次の手順に従います。

### 手順

ステップ 1 [Desktop] > [System Setup] > [Network] > [File Servers/Path] を選択します。

ステップ 2 次の情報を入力します。  
https://IPADDRESS/cisco

# DHCP オプション タグを使用したクライアントの HTTPS サーバへの割り当て

DHCP オプション タグ 161 および 162 を使用して、WTOS ゼロ クライアントにファイル サーバ およびパス情報を渡すことができます。

## 手順

[DHCP オプションの設定](#)の説明に従って、161 および 162 タグを設定してください。

# SSL 機能を持つ初期 Windows 2003 Server または Windows XP SP2 の作成

SSL 機能を持つ初期 Windows 2003 Server または Windows XP SP2 を作成するには、パイロットおよびデモで次の手順を実行します。次の手順は、SSL を使用するように Web サーバを設定していないことを前提としています。

## 手順

- 
- ステップ 1** IIS 6.0 Resource Kit をダウンロードします。
  - ステップ 2** インストーラを起動します。
  - ステップ 3** インストーラの実行中に、インストール タイプとして [custom] を選択し、SelfSSL コンポーネントのみをインストールします。
  - ステップ 4** [Start] > [Programs] > [IIS Resources] > [SelfSSL] > [SelfSSL] を選択します。DOS シェルが起動します。
  - ステップ 5** 次のステートメントを入力します。コンピュータ名 (CN) は実際のサーバ名に置き換えてください。  
`selfssl.exe /N:CN=SERVERNAME /K:1024 /V:7 /S:1 /P:443 /T`  
インストールが正常に完了すると、「The self-signed certificate was successfully assigned to site 1」 というメッセージが表示されます。
  - ステップ 6** この手順では、設定済みの既存の IIS Web サイトを再設定できます。詳細オプションについては、次のように入力して SelfSSL のヘルプを参照してください。  
`Selfssl.exe -h`  
上記の手順を完了したら、この付録の最初のセクションに進みます。
-

